



子育て・教育環境の充実

妊産婦・子育て世帯・子どもに対し一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置します。



給食費6ヶ月間半額補助、その先も前向きに検討します。



生活環境の充実

高齢者の認知症対策として、中等度難聴の方に対して、補聴器購入費用の一部助成。



大字自治会が設置する防犯カメラの設置費用の一部補助。



町内巡回バス「すな丸号」の運行ルート再編。



組織改革

6つを5つの部に統廃合することで、連携強化、効率化を図った新たな組織に。



災害対策

1日も早い不毛田川の内水対策の整備を目指し、用地取得や調整池整備工事を実施します。

緊急輸送道路である西名阪自動車道に架かる橋梁の耐震化を順次進めます。

その他

和歌山県すさみ町との住民同士の地域間交流から始まった「産直市」は、5千人を超える人が集う河合町オリジナルの一大イベントです。



特産品開発として始まった「大和の黒豆"KAWAI BLACK"」は3年目を迎え、ブランド力・知名度の向上を図ります。

荒廃農地を活用し農業体験を実施している「たんぼの楽耕」を通じて、新規就農に導く事業展開と、河合町への愛着を醸成していきます。



河合町議会議員

すぎ本たかし



日本維新の会所属の枚本貴司さんは、「古い政治を壊し、新しい時代にあった新しい政治を創る」ために、住民の皆さんのあたり前の価値観を議会に訴え、日々活動されています。行政と議会の立場は違えども同じ志を持つ者同士、これからも力を合わせて頑張っています。

森川よしゆき事務所

奈良県北葛城郡河合町薬井428-24
Tel 0745-44-3578 Fax 44-3579



KAWAI TOWN
河合町長

森川よしゆき

発行 森川よしゆき事務所 河合町薬井428-24
Tel 0745-44-3578 Fax 44-3579

Change Kawai

ORIKAWA YOSHIYUKI NEWS

NEWS!
Vol.01

ご挨拶

昨年5月の就任以来、「河合町を変える」という強い気持ちで、ひたすら走り続け、あっという間に1年が過ぎました。

私は、行財政改革をはじめとして、子育て対策、高齢者対策等を公約として掲げ、就任以来、町の抱える課題とその対応策をしっかりと見極め、河合町の財政再建に向けた新たな改革プランを立て、スピード感を持って取り組んで参りました。

また、財政再建の手始めとして、公約の1つである私の歳費・期末手当の30%削減と、退職金ゼロについて議会で承認を受け、4年間の任期で約3,500万円減額し、まずは身を切る改革を実行させて頂きました。

河合町の財政状況は、毎年、奈良県から重症警報が出され、舵取りを一步間違えれば町の財政が破綻し転覆する状態です。その財政再建の新たな取り組みとして企業誘致、観光スポットの創設、ふるさと納税を増やすため返礼品の充実等に積極的に取り組んでいます。

そして、行政改革として、部局の統合により行政のスリム化を図り、町の魅力を伝える観光振興課の設立や、農業の担い手づくりを担う公益農業法人設立の準備室を立ち上げました。

今後も河合町の財政再建の、羅針盤となる財政計画をしっかりと作り、町の再生に向けて航路を見極め、住民の皆さんの期待と希望あふれる町づくりに向けて、しっかりと舵をとって参ります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

河合町長 森川 喜之





河合町長：森川よしゆき

2023年5月就任以来

「実現」したこと。

町長の退職金

全額返納

4年で
1,768万円

町長歳費と期末手当を

30%削減



年間
約448万円

昨年4月の町長選挙で掲げた公約を実現するため、町長就任後すぐの臨時議会に、歳費と期末手当を3割(年間約448万円)減額と、退職金(4年で1768万円)を支給しないことを盛り込んだ議案を提出し全員賛成で可決され、まず身を切る改革の手始めとしての公約を実現しました。

観光振興課の設置

財政再建に向けた新たな取り組みの1つとして、古墳群など歴史遺産や馬見丘陵公園などの観光資源を活かすため「観光振興課」を新しく設置し、観光に力を入れました。馬見丘陵公園、古墳、廣瀬大社を巡る観光ルートをつくり地場産品の販売促進。観光促進や企業誘致で財源確保を図る。



第二中学校のトイレ改修

PTAからも長年要望されていた第二中学校のトイレ改修を就任後すぐに対応。子どもたちの教育環境の充実を図る。

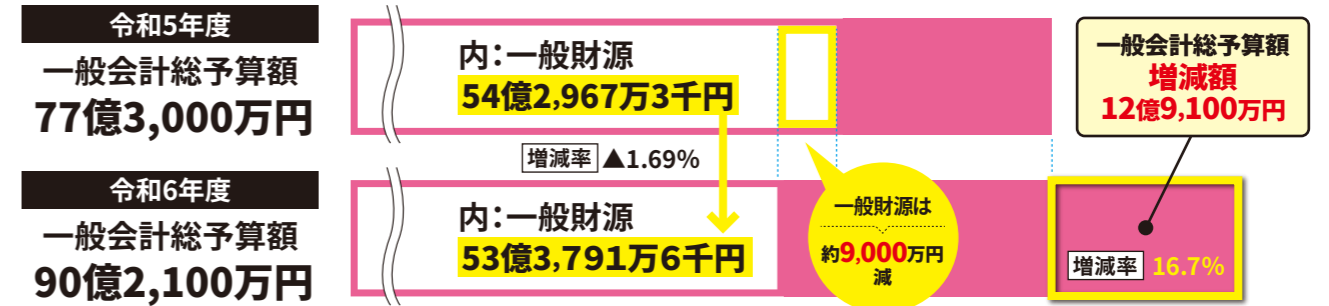


中央体育館移転

旧第三小学校を活用した町立体育館の移転と防災備蓄倉庫の整備を図る。中央公民館の移転となる第二期工事へと速やかに移行し、防災拠点としての高機能な施設へと整備を図る。



河合町令和6年度予算



一般会計総予算額が約13億円増加した要因は

住民生活と安全に必要な事業費が増えたためです。

緊急内水対策 → 約5億9,700万円増 ゴミ処理広域化 → 約9億1,300万円増 前年度比:約15億1,000万円増

徹底した行財政改革を通じて、財源を生み出し、その財源を住民のみならず、本当に必要なところに投じます。



稼ぐ

住民サービスを維持しつつ、財政再建するため、収入を増やす(稼ぐ)。稼いだ財源で、教育や子育て支援、医療・福祉の充実を図り、人口増を目指す。

自主財源

ふるさと納税の返礼品市場に町内事業者の新規参入を促し、返礼品数の増加・付加価値の向上などにより、寄付額アップを図り、地場産業の活性化・税収等の自主財源の確保にもつなげます。

挑戦

削減や縮小ばかりでは停滞、後進しかありません。まずは挑戦することが大事なので、これからも一歩一歩、着実に前進していきます。

税収アップ

観光振興、商工業振興、企業誘致、事業者の育成を図り、税収アップを目指します。

公平性

負担の公平性の観点からも適正課税、徴収率の維持・向上に努め、地籍調査も継続し、公平性の担保につなげます。

発掘

町有地の貸付けを含めた積極的な活用や、売却も視野に新たな財源の発掘に努めます。

財政立て直し

財政改革・再建

